

美術館ユビキタスシステム



ユビキタス・サービスの概要



青森県立美術館は、固定された順路を回遊するのではなく、様々な展示空間を使用して展示された作品を、探索しながら自由に鑑賞することを特徴としています。

この特徴を活かしながら、来館者により快適に鑑賞をしていただけるように、最先端のナビゲーション端末を用いて、自分のペースで、だれもが気軽に易しく美術館を観覧できるユビキタス・ナビゲーション・システムを導入いたしました。

ご利用方法

- ①モバイル表示端末の案内で、常設展示室、企画展示室を順路に沿って鑑賞していただきます。案内情報は、映像・音声・写真・テキストを活用して提供されます。
- ②通路等の順路案内ポイントで赤外線を受信すると自動的に、進む方向や目印などが案内されます。
- ③展示室に到着すると、赤外線を受信して自動的に現在の展示室名を案内します。
- ④画面に表示されたメニューをタッチして、展示室情報や作家・作品の解説、美術館情報などのコンテンツを自由にご覧いただけます。
- ⑤アンケートコーナーのアンケートタグ（ICタグ）に端末をかざすと、画面からアンケートに回答していただくことができます。

- 貸出場所 地下2階 チケット/案内
- 貸出時間 2時間程度
- 対象エリア 常設展会場、企画展会場
- 料金 試行サービス期間につき当面は無料

モバイル表示端末について



- ユビキタス・コミュニケーター（UC）を採用し、赤外線/無線マーカからuコードを受信して現在地を識別します。
- 画面上のボタンやタブを、指またはタッチペンでタッチして操作できます。
- 音声はヘッドホンで聞いていただきます。
- RFIDタグ（13.56MHz uコード）リーダ、無線LAN機能を有しています。



美術館ユビキタスシステム

青森県立美術館

ユビキタスシステムのしくみ



ユビキタスシステムは、場所やものを識別するuコード（世界に一つしかないユニークな番号）を用いて、展示室や通路の場所やモノに情報をくくりつける「ユビキタス空間場所情報システム」を活用しています。場所の識別には天井に設置した赤外線／無線マーカを用い、モノの識別にはRFIDタグを用いています。ナビゲーション端末は、uコードを受信して現在地やモノを識別し、適切なナビゲーションを行います。

ナビゲーション機能

■ 順路案内・展示室内案内



ナレーション
「アレコホールは縦21m、横21m、高さ19mの…」

ナレーション
「こちらは展示室Fです。画面の矢印に沿って…」

■ 作家・作品の案内



ナレーション
「美術館の西側に位置した屋外空間に、巨大な…」

■ 美術館情報

イベント情報、館内のショップ・カフェ情報、三内丸山遺跡情報、バス・タクシー情報などを提供します。

システム構成



● 赤外線マーカ（uコード）

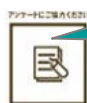
館内B2階・B1階の展示室や通路、約70ヶ所に設置して、順路案内および展示室の紹介に用いています。

● RFIDタグ（13.56MHz uコード）

アンケートタグとしてアンケートコーナーのパネルに組み込んでいます。モバイル表示端末をパネルにかざすことで、アンケート回答画面が自動的に表示され、来場者にアンケート回答していただくことができます。

（無線LANを経由してアンケート用サーバにアクセスします。）

■ アンケートタグ（RFIDタグ）



■ 無線LAN



■ コンテンツ編集・管理システム



■ WEBサーバ

